

2018年(平成30年)5月29日

西岡 真一郎小金井市長 様

名勝 小金井桜の会

会長 小沼 廣和

NPO 法人小金井桜を復活する会

理事長 日並 洋一

小金井橋完成植樹祭の折に植樹した「小金井・三吉野ヤマザクラ」の植替えについて

常日頃、名勝小金井桜復活事業にご尽力いただき感謝申し上げます。

2011年(平成23年)2月11・12・13日に開催した「平成の世に甦る!名勝小金井桜大復活祭」の記念イベント『小金井橋完成植樹祭』に際し小金井公園桜守の会(世話人代表:伊藤正義)から寄贈され、小金井橋南側上流部袂に植樹されているS42(ヤマザクラ)は明らかに開花状況からヤマザクラでは無いと思われま

す。国の名勝としての小金井(サクラ)は吉野山、桜川から280年前に取り寄せ植樹し、代々受け継がれてきた多種多様なヤマザクラ並木であることが名勝指定の理由となっています。

小金井橋は名勝小金井桜の起点であり、名勝指定記念碑が所在する大事な場所でもあり、橋の架け替えによる完成祝いとして「吉野山ヤマザクラ」「桜川ヤマザクラ」「北上ヤマザクラ」を各団体から寄贈されたヤマザクラを記念樹として植樹しましたが、主催地の桜が系譜の正しいヤマザクラでないということにはなりません。しかも管理者によって設置したブルー表示が実際の桜と違っていることは早急に植え替えをする必要があります。

私たちは、小金井桜復活事業を行うに当たって、その後継樹は系譜に沿った小金井桜の古木から接ぎ木等の方法により育成を行い、貴市及び地元自治体に提供しています。

本サクラについては、今年度中に当会が育成中の小金井桜の系譜に沿ったヤマザクラ苗に植え替えをするよう管理者である東京都教育委員会と調整をお願いします。

なお、本件についての管理者との調整結果につきましては、文書でご回答いただきますようお願いいたします。

2011年2月12日開催の「名勝小金井桜第復活祭」の記念事業の一環として『小金井橋完成植樹祭』の際に小金井公園桜守の会から寄贈され記念植樹した「小金井三吉野ヤマザクラ」と称する桜が、2018年の開花に於いてソメイヨシノと同時期に開花し、開花時に若葉がなく、花弁のみの状況であり、3月30日には満開の状況であった。

本サクラは明らかにヤマザクラでない状況であり、名勝小金井桜の管理者である東京都教育委員会が平成23年に設置した「平成23年・S42・ヤマザクラ・東京都教育委員会」のプレートと実態が違いと判明した。

下記のとおり、「大復活祭」時小金井公園桜守の会からの記録として寄贈桜の経歴が提出されており、親木のNo.659の原木とも違い、当該桜の説明板にも下記の通り、同趣旨の内容を掲示していたが実態と違うので早急に植え替える必要がある。

小金井桜・三吉野ヤマザクラ



設置されているプレート



3月30日の桜全容



花付きの全容



満開の花弁



満開の全容

小金井橋完成植樹祭

植樹 ヤマザクラ 4種・4本

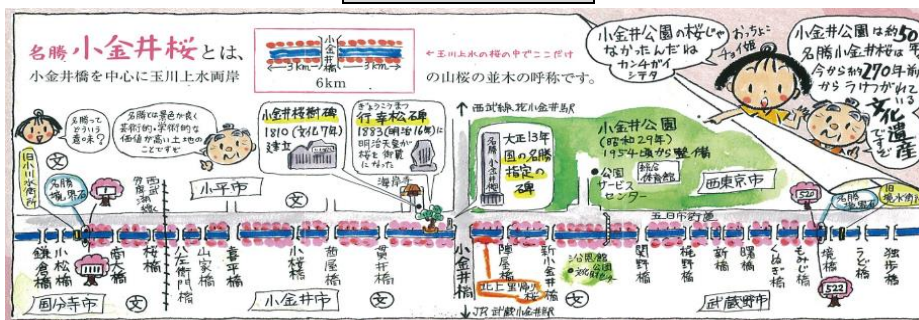
小金井・三吉野ヤマザクラ 小金井市【小金井公園桜守の会寄贈】

この三吉野ヤマザクラは、名勝天然記念物の調査や保護思想の啓蒙普及活動に尽力した植物学者三好學博士が『小金井桜花図説』(58種)で発表した白山桜の典型で「三吉野桜」と命名されたと思われる、No.659の原木から平成16年に接ぎ木した後継樹です。中咲きで樹形は傘状をなし、純白の美しい花を毎年咲かせて市民に愛されています。

可憐で優れたヤマザクラの代表です。

「記念植樹祭」の時に各記念樹の袂に植樹趣旨を設置した説明文

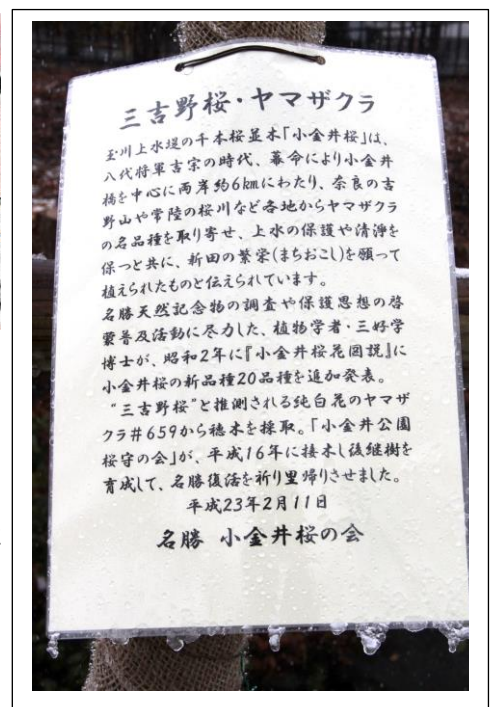
小金井産「小金井桜」



この桜は、玉川上水堤の名勝小金井桜の古木のヤマザクラのサクランボから発芽した苗を育成し、2011年2月11日開催の小金井桜大復活祭に際し「小金井橋完成」の記念樹として植樹した小金井桜の後継樹です。

私たちは、かつての名勝に相応しい景観に戻すために、旧小平水衛所から境橋までの玉川上水堤の両岸6Kmに新たに約1200本のヤマザクラを植栽する10年計画を、東京都・地元自治体(小平・小金井・西東京・武蔵野の四市)・市民団体のコラボレーション事業として進めています。ご協力をお願いします。

名勝 小金井桜の会 NPO法人 小金井桜を復活する会



吉野山 ヤマザクラ 奈良県吉野郡吉野町【吉野山保勝会寄贈】

このヤマザクラは、小金井桜のルーツ奈良県吉野山の「吉野山保勝会」から小金井橋完成の祝いと小金井桜復活の祈りを込めて贈られました。6世紀初め吉野山の金峯山寺に役行者が桜の木で蔵王権現を刻んで本尊としたという伝説から、信者によるヤマザクラの寄進と献木が長年続けられ、現在数万本の桜の名所としてあまりにも有名です。吉野神宮付近を下の千本、如意輪寺付近を中の千本、吉野分水神社付近を上千本、西行庵付近を奥の千本という。

大正13年12月9日に国の名勝に指定されました。

桜川・ヤマザクラ 茨城県桜川市【桜川磯部稲村神社寄贈】

このヤマザクラは、小金井桜のルーツ茨城県桜川の桜川磯部稲村神社から小金井橋の完成の祝いと小金井桜復活の祈りを込めて贈られました。桜川は世阿弥の謡曲「桜川」に『花の名所桜川、親子ならでは来ぬものを』と謡われ、紀貫之も歌に詠み古くから桜の名所として有名です。現在は河川改修のため大正13年に名勝に指定された河畔の桜はなく、磯部稲村神社周辺と磯部桜川公園に約千本の山桜が植えられています。昭和49年国の天然記念物に指定され「サクラサクリ」として有名です。

北上・ヤマザクラ 岩手県北上市【北上さくらの会寄贈】

このヤマザクラは、大正10年開設の北上展勝地公園陣ヶ丘に、当時サクラ研究の第一人者であった三好学博士と井下清東京市技師の指導で、日本のヤマザクラの代表として小金井桜1200本が移植され今も約80本が元気に咲いています。平成13年に展勝地公園開園80周年式典の席上、小金井市への「里帰り目録」が伊藤北上市長から贈られ、平成19年11月に86年ぶりの里帰りが実現しました。両市民の友情の印として再び里帰りして、小金井橋完成を祝う親・子・孫3代のメモリアルイヤーが実現しました。